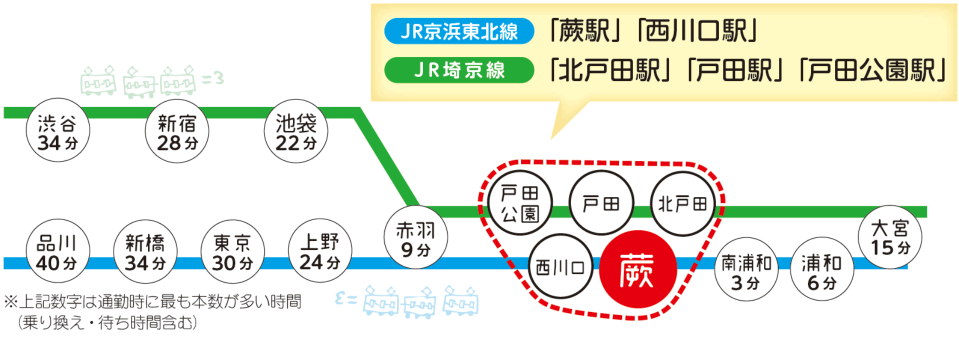
# WARABI

蕨市は都心に近い埼玉県の南部に位置し、市域が5.11k㎡と日本一小さく、そこに75,000人以上が暮らす日本一人口密度が高い市です。コミュニティ豊かな街を舞台に、日本一住みやすくあたたかい街づくりを推進しています。端から端まで約４kmの中に、小学校７校、中学校３校の１０校（全て中規模校）が配置されています。

## 蕨のこんないいところ アクセス抜群!!学校が近い!!

京浜東北線、埼京線の２路線が利用可能で、都内からの乗り換えもなし。駅から学校間も徒歩15分以内で通勤のしやすさが魅力です。学校を異動しても通勤スタイルを変更する必要ありません。




## 蕨の特色ある教育

### ★校内教育支援センター　e-station

令和７年度、不登校等生徒一人一人に応じた支援を保障し、生徒が学力やコミュニケーション能力を身に付けることで、社会的自立を目指すことを目的とした「校内教育支援センター e-station」通称e-sta[エスタ]を設置・開設しました。全３中学校に市費専任職員と支援員をそれぞれ配置するとともに、新たに市費スクールカウンセラーも市内に１名増員しました。

「誰一人取り残さない。」を合言葉に、生徒が希望する教科等（オンライン学習を含む）をサポートするほか、担当教師の専門性に応じた指導や体験的な学習を行っています。また、居場所として使用したい生徒には、心のエネルギーが溜まるまでの時間もサポートしていきます。

利用している生徒から、「落ち着いた空間で、自分のペースで学習できる。」「自分のこうしたいができる。」という前向きな声が溢れている教室です。

### ICT活用 ★埼玉県１位！関東６位！情報化ランキング

日経パソコン『教育とICT No.27』で公立学校情報化ランキングが発表され、蕨市が埼玉県１位、関東圏においても６位という結果が掲載されました。「インフラ整備」（コンピューターの充足率、大型提示装置、無線LAN、校務支援システムの整備率等）と「教員指導力」（ICTを活用して指導する力、ICT活用指導力の研修を受けた教員の割合等）の２観点から算出されたランキングとなります。児童生徒・教職員ともにchromebookが通常授業で使用され、中学校ではDXルームが整備されています。校務支援システムは、お任せ校務C4thが早くから導入され、勤怠管理や保健機能を加えて、総合的に活用されています。

### 働き方改革
### ★ICTを活用して効率UP！

教職員にGoogleアカウントの配付、教職員ポータルサイトの設置等、WEBやクラウドを活用し、指導案や教材の共有を図ることで、授業準備等にかける時間を削減し、業務の効率化を推進しています。